

ひろげる つなぐ かえる

expand
join
change

2011

2011年6月25日発行
通巻 151 号

コラム

花ざかりの志摩へ ～市民活動パラダイス～

しま市民活動フェスタ2011実行委員長 東原 達也(志摩市民活動通信sanpo)

NPO物語 Vol.27

財団法人 東海水産科学協会 海の博物館

館長 石原 義剛

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声聞くことができます。



花ざかりの志摩へ～市民活動パラダイス～

しま市民活動フェスタ2011実行委員長 東原 達也
(志摩市民活動通信 sanpo)

～ひろげる～

私たちの志摩市にも、身近な課題の解決に取り組む仲間や、夢の実現に胸を膨らませる若者がたくさんいます。これまでの、行政や社協から委託や任命を受けての事業活動を超え、自らの気づきから生まれてきた「一人生え」の市民活動がたくさん芽吹いてきています。

志摩にある二つの公的な中間支援組織、志摩市社協ボランティアセンターと志摩市市民活動支援センターへの登録者も通算100団体を超え、さらには独立系の仲間も多数あり、志摩の市民活動のひろがり、まさに「若葉萌ゆる季節」の様を呈してきました。

～つなぐ～

しま市民活動フェスタも今年で5年目を迎えます。

それ以前の社協系のボランティアフェスティバルや行政系の地域福祉フェスタ、市民発の市民活動交流会での「皆さんの思いや経験」を大切にしながら、志摩に市民活動が育つようにと、先輩たちが「耕しや種まき」に努力頂いた5年間だったと感じています。

今年のフェスタは、参加する団体同士が主役になろうと一歩を踏み出しました。

これまでの、お膳立てされた企画に出席するお客さん団体的な「事業」から、自分たちの手で作り上げ、その遊びを多くの仲間に伝えていく「学園祭」をめざして、大きく舵を切りました。

笑顔で始まり、ハイタッチで終わる祭りを通じて、多くの仲間がつながっていければと願っています。

～かえる～

「中間支援」も「市民社会の実現」も、その地に芽生えた小さな双葉から始まると感じています。周到に準備された「仕様や規定」を超えて、より本質に向かう市民の自由な力を信じ、志摩に市民活動が根付き、その芽が萌え広がり、花ざかりな日が来ることを夢見て、共に育って行きたいと願ってやみません。

志摩市民活動通信 sanpo：平成13年度三重県地域 NPO 活動基盤整備事業を契機に、志摩地域の市民活動団体の情報発信と交流を支援する NPO として、その有志な活動を「見える化」する。

助成金情報

環境 市民活動 福祉

市民活動

三井物産環境基金 東日本大震災復興助成案件募集

受付期間 7月29日(金) 必着

対象団体 a. 活動助成

日本国内に拠点をもつ NPO 法人、公益法人、特例民法法人、大学で活動実績が3年以上の団体

b. 研究助成

日本国内に拠点をもつ大学、公的研究機関、NPO 法人、公益法人、特例民法法人及び上記の協働グループで研究実績が3年以上の団体

※詳細は HP を参照

助成金の額 総額 6 億円。1 件当たりの金額の上限設定なし。

応募方法 HP よりダウンロードした申請書に必要事項を記入の上、下記事務局まで郵送。活動助成・研究助成により申請書の様式が異なるので注意。

問い合わせ先 三井物産株式会社 環境・社会貢献部 三井物産環境基金事務局

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-2-1

<a. 活動助成> Tel 03-6705-6156

✉ 11MBK-KankyokikinTKVCF@mitsui.com

<b. 研究助成> Tel 03-6705-6153

✉ 11MEF-KenkyuTKVCF@mitsui.com

HP <http://www.mitsui.com/jp/ja/csr/contribution/fund/application/revival.html>

環境

公益財団法人日野自動車グリーンファンド(HGF)

受付期間 7月31日(日) 当日消印有効

対象活動 ①自然環境保全に資する樹木や草花の植樹の実施
②自然環境保全活動の実施
③自然環境保全に資する調査や研究の実施
④自然環境保全に資する教育や諸啓発活動の実施

対象団体 前記に係わる活動・研究を行う団体・グループ・個人等
<申請者の条件>

- ①活動の基盤が日本国内であること。
- ②団体については、原則として設立2年以上を経過しており活動実績のあること。
- ③日本語での応募であること。

助成金の額 総額 750 万円程度(予定)

応募方法 助成金申請書を HP よりダウンロードし、必要事項を記入の上、事務局宛てに郵送。

問い合わせ先 公益財団法人日野自動車グリーンファンド 事務局
〒191-8660 東京都日野市日野台 3-1-1

Tel 042-586-5369 Fax 042-586-5222

✉ hinogf@hino.co.jp

HP <http://www.hino-global.com/j/csr/greenfund/promotion.html>

地球にやさしく地域と共に歩む「コープみえ」

生活協同組合コープみえ 組織運営部 妹尾成幸様、橋本直行様へのインタビューより

三重県下で15万人を超える暮らしの協同組織「生活協同組合コープみえ」は、会員が自立しながら、共助の精神で、暮らしを良くしていくという設立目的に沿って運営されています。安全・安心な生活物資の供給や福祉事業、サービスなどの利用事業、また組合員の活動を通じ、持続可能な社会づくりを目指しています。

平和、環境、食育、子育てなど暮らし全般に関わる活動に際し、熱心に取り組まれています。今回は環境活動を中心にお話をお聞きました。

コープみえの環境キャンペーンは、当初(2004年)、日本生活協同組合連合会の呼びかけで「環境キャンペーン1%募金」の取り組みが各地の生協で始まり、環境配慮商品の収益の一部を地域の環境団体への寄付という形で社会貢献を始めるきっかけとなりました。環境配慮商品の収益金の一部を原資とする環境活動団体への寄付活動にも一定の広がりがみられると、いよいよ全国各地の生協が独自で活動を進めることになりました。2008年からは、「コープみえ」独自の活動として地球にやさしい商品の利用普及を進めてきました。

2010年度からは、商品のメーカーから寄付協賛金の提

供もあり、環境キャンペーンによる寄付活動も今年8回目を数え、さらなる広がりを目指し、本年度より寄付をおこなう環境団体を

「公募」により募集する試みをスタートさせたところです。

今後も、低炭素社会、自然共生社会、循環型社会の三つを環境活動の視点とし、特に自然共生社会の取り組みでは、NPOの専門性を高く評価され、つながりを大切にしたいとの心意気です。資源の枯渇を防ぐため、環境に配慮した商品開発はますます重要になり、持続可能な循環型社会実現のための活動は国内外で広く着実に取り組まれています。

NPOとの「つながり」を大切に、地域と共に歩んでいる姿に、大変共感を覚えるインタビューとなりました。



磯でのフィールド活動(2010年8月26日)

※「コープみえ」は、東日本大震災の被災地義援金として2,600万円を寄付されました。

 福祉

財団法人みずほ福祉助成財団

平成23年度社会福祉助成金募集

受付期間 8月1日(月) 必着

対象団体 社会福祉法人、非営利活動法人、任意団体、共同作業所等又は研究グループ(3人以上で構成)とし、営利法人と個人は除きます。

対象活動 障害児者に関する事業及び研究で、先駆的・開拓的事业及び研究を優先します。(但し、研究助成については「社会福祉(ソーシャルワーク)に関する研究」も可とします)

助成金の額 総額3,500万円。事業(研究)総額の90%以内。

①事業助成… 15万円以上、100万円を限度

②研究助成… 150万円を限度

応募方法 HPからダウンロードした申込書に必要事項を記入し、所定の資料と併せて(財)みずほ福祉助成財団事務局宛て郵送。尚、研究助成のうち、(社)日本社会福祉教育学校連盟加盟校は直接同連盟宛に郵送。※詳細はHPを参照

問い合わせ先 財団法人 みずほ福祉助成財団 事務局
〒100-8333 東京都千代田区丸の内2-5-1
丸の内二丁目ビル7階
Tel 03-3201-2442 Fax 03-5252-8660

E-mail BOL00683@nifty.com

HP <http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/pdf/index.html>

 市民活動

第9回MPドリーム助成先募集

受付期間 8月19日(金) 17:00 必着

対象団体 三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ。但し、総収入額に対する国、地方公共団体等の助成の割合が50%以上、または、総支出額に対する人件費の割合が50%以上のグループは対象外。

助成対象 ①学習会・研修会の開催

②調査・研究の実施

③福祉教育・ボランティア啓発の実施

④ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動

⑤器具・器材の購入

⑥その他

助成金の額 1グループ20万円以内、40グループ以内

但し、申請する事業の10%以上は自主財源とする。

応募方法 HPよりダウンロードした申請書に必要事項を記入の上、年間の活動状況がわかるもの、前年度決算書、今年度予算書、見積書を添付して事務局まで郵送。※詳細はHPを参照

問い合わせ先 三重県遊技業福祉連合会事務局
〒514-0006 津市広明町328(担当:山川・山添)
Tel 059-221-1677 Fax 059-227-7332

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyo/newpage15.htm>

NPO から寄せられた募集とご案内

受講生募集

東海ろうきん

事業型NPO育成支援講座

- ① 7月2日～ 事業型NPO 育成支援講座を開講
- ② 7月下旬～ 助成金募集開始
(総額1,000万円、3年間の継続申請可能)
- ③ 個別コンサルティングを3年間継続サポート

日 時 7月2、9、16日(土)

10:00～16:00

場 所 東海労働金庫本店 7階
大会議室

対 象 ・事業型NPOの起業を目指す個人
・既に活動しているNPOであり、
事業化を目指す団体

参加費 全3日の料金 6,000円

募集人数 50名

応募方法 HPの申込み用紙に必要事項を
記入し、FAX、Eメールまたは
郵便にて送付

応募締切 6月30日(木)必着、先着順

主 催 東海労働金庫

問い合わせ (特活)市民フォーラム21・NPOセンター
〒462-0819名古屋市中区平山
1丁目9-22

Tel 052-919-0200(担当:後)

✉ office1@sf21npo.gr.jp

HP [http://www.sf21npo.gr.jp/
pdf/2011_rokin_kouza.pdf](http://www.sf21npo.gr.jp/pdf/2011_rokin_kouza.pdf)

鉄道ファン集まれ!

北勢線電化全線開通 80 周年と モニ 226 号外装修復披露式典

本年は、北勢線がSLから電化されたと同時に、桑名町(京橋)駅から北勢町阿下喜駅までが全線開通した80周年に当たります。私たちASITA(北勢線とまち育みを考える会)は3年前から、開通時(昭和6年)に製造された中で唯一現存する226号車を四日市市から譲り受け、修復事業を推進して参りました。このたび全線開通80周年を祝う式典に、この226号車の外装修復完成を、広く全国に披露いたします。

日 時 7月8日(金)10:00～12:00

場 所 いなべ市北勢町阿下喜788「あ
じさいの里」体験ホール及び北
勢線阿下喜駅隣接「軽便鉄道博
物館」野外展示場

対 象 三重県内の鉄道ファンとNPO
の皆さん

参加費 無料 ※要申込み

主 催 ASITA(北勢線とまち育みを考える会)

問い合わせ Tel&Fax 0594-23-0123(成田)

✉ masando@mie.email.ne.jp

HP <http://asita.web.infoseek.co.jp>

お気軽にご参加ください!

青年海外協力隊 OB と話そう

～協力隊ナビ 四日市～

海外ボランティアって?途上国の暮ら
して、実際は?などなど、JICAや青
年海外協力隊についての色々なことを、
協力隊OB・OGに聞いてみませんか?
肩肘張らずに、お気軽に、お気軽に、
ちょっと会場をのぞいてみるだけでも
かまいません。なにかちょっと面白い
話が聞けるかもしれませんよ。

日 時 7月9日(土)14:00～16:00

場 所 じばさん三重 4階 研修室3

参加費 無料 ※申込不要

主 催 青年海外協力隊三重県OB会

問い合わせ Tel 090-4799-0902(坂本)

✉ itaiki240@yahoo.co.jp

HP <http://mie-ob.jocv.net/index.html>

公開講座

「女性の貧困と必要な支援について」 経済的に困難な状況にある女性を支援 するための地域展開研修

母子家庭の母親やDVの被害を受け
た女性など、経済的に困難な状況に置
かれた女性たちが「パソコン技術」の
習得を通して、これからの就職等、自
立に向けた支援を行うための「コッ
」が学べる研修事業です。

日 時 7月20日(水)

【公開講座】 13:30～15:30

【理論編】 15:40～16:30

7月21日(木)

【実践編】 13:00～16:30

場 所 三重県男女共同参画センター「フ
レンテみえ」2階セミナー室A

講 師 赤石 千衣子さん

(しんぐるまざあず・ふぉーむ理事、
ふえみん婦人民主新聞編集長)

坂倉 加代子さん

(特活)四日市男女共同参画研究所 代表)

山岡 由加子さん

(みずほ情報総研株式会社社会経済コン
サルティング部)

対 象 男女共同参画関連施設担当者、
母子家庭支援機関・DV被害者支
援機関・団体担当者、女性のため
の就労支援機関担当者、ほか

募集人数 公開講座…50名

その他各日…30名程度

参加費 無料(託児あり、500円/人)

※要申し込み

応募方法 研修申込書に必要事項を記入の上、
メール、郵送、FAX、持参にて申込

主 催 三重県男女共同参画センター
「フレンテみえ」

共 催 (特活)全国女性会館協議会

問い合わせ 「フレンテみえ」

Tel 059-233-1130

Fax 059-233-1135

✉ frente@center-mie.or.jp

HP [http://www3.center-mie.
or.jp/center/frente/](http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/)

広報でお悩みの市民活動団体さんに朗報です!

NPOのアピール力を育む

「実践!書き描き塾」塾生募集!

「実践!書き描き塾」は、NPO向けの広
報力強化プログラムです。

- 内 容
- ・6か月にわたり、定期的に広
報勉強会を実施。基礎から応
用までを学びます。
 - ・ロゴマークやキャラクター、
キャッチコピーなどの「広報
ツール」を「自らの力」で作
れるようサポート。
 - ・名刺、パンフレットなどへの
ツールの活用から、缶バッジ
やTシャツなどの販促グッズ
の作り方で、実践を交えて
楽しく習得。パソコンに頼ら
ない広報展開も可能です。
 - ・学んだ成果を発表するPRイ
ベントも実施予定。思う存分
ちから試しができます。

※資料請求、申込用紙のダウンロード
はホームページからお願いします。

※勉強会は無料です。制作物にかかる実
費のみご負担ください。

※受付期間内にお申込みいただいた全て
の団体の中から3団体を選定します。

対 象 三重県内のNPO、市民活動団
体など

応募締切 7月23日(土)

問い合わせ (特活)Mブリッジ 広報支援
事業部(三上/澤)

Tel 0598-23-8400

Fax 0598-23-8488

✉ kakikaki.mbridge@gmail.com

HP <http://kakikaki.jimdo.com/>

～NPOと企業の協働事業を募集します～

【第8回パートナーシップ大賞】

NPOと企業のパートナーシップによ
り、社会や地域の課題を解決し、新し

い市民社会・新しい公共の実現に寄与することを目的としています。

各賞 【パートナーシップ大賞グランプリ】
NPOに記念楯と副賞 30万円、
企業には記念楯を贈呈

【パートナーシップ賞 5 事業】
NPOに記念楯と副賞 10万円、
企業には記念楯を贈呈

対象 日本に所在するNPO（法人格の有無不問）と企業との協働事業

応募条件 ①応募の時点で継続中および事業終了後 1 年以内のもの。
自薦または第三者による推薦。NPO 及び企業双方の了解が得られていること。

②応募事業については、事例集として作成する刊行物等に協働事業名、NPO 名、企業名等を掲載させていただきます。

応募方法 HP から応募用紙をダウンロードし必要事項を記入の上、下記の募集係宛にEメールまたは郵便にて送付。

応募締切 7月31日（日）18:00 必着
問い合わせ先 (特活) パートナーシップ・サポートセンター
「パートナーシップ大賞 募集係」
Tel 052-762-0401
Fax 052-762-0407

E-mail info@psc.or.jp

HP http://www.psc.or.jp/02_11.html

養成講座

視覚障がい者のパソコンボランティア

視覚障がい者用のパソコンソフトや周辺機器を紹介、画面読み上げソフトや画面を拡大する機能についての解説と、それらの活用方法や、サポートする際のポイントなど。

日時 8月から毎月第2金曜日開催。
全6回講座。

第1回
8月12日（金）13:00～15:00

場所 桑名市総合福祉会館

対象 全6回参加できて、実際に活動していただける方

参加費 資料代 200 円

※要申込み（電話にて受付）

主催 くわな PC ネット

問い合わせ先 Tel 090-8868-8627（児玉）

受講者募集

PLT 指導者養成セミナーの受講者募集

★PLT（プロジェクト・ラーニング・ツリー）って？

PLT は、環境学習プログラムの一つで、自然と調和して生きていくために必要な、意識・知識・能力を身につけることを目的としています。創造的で主体的な思考能力を身につけることに焦点を当て、「環境についてどのように考えるのか」といったことを子どもたち自身が見つけ出すために」という視点でアプローチし、そのために必要な道具を指導者の方々に提供しています。子どもたちの思考力を刺激し、環境問題の解決に向けた情報を獲得する能力を身につけるとともに、環境を守り良くしていくために責任ある行動がとれる個人を育てることが PLT のねらいです。

★このセミナーを受講すると…

ERIC 国際理解教育・資料情報センターが認定する「PLT ファシリテーター」の資格が得られます。

★開催日時及び会場

<北勢会場>

日時 7月31日（日）9:30～16:30

場所 「三重県民の森 ふれあいの館」

<伊賀会場>

日時 8月21日（日）9:30～16:30

場所 「三重県上野森林公園 ビジターコテージ研修室」

<尾鷲会場>

日時 9月11日（日）9:30～16:30

場所 「三重県熊野古道センター体験学習室」

対象 三重県内にお住まい、または県内に通勤（通学）されている方で、
・「木」や「森林」をテーマとした環境学習の指導者をめざしている方
・PLT による指導や森林等での環境学習に関心のある方

講師 三重県環境学習情報センター
環境学習推進員

PLT リーダー 木村京子

参加費 無料

募集人数 各会場とも 15 名

（申し込み多数の場合は抽選）

応募方法 Fax、郵便、Eメールのいずれかで講座の名称、会場名、氏名、郵便番号、住所、電話番号、Fax 番号、Eメールアドレスを連絡

応募締切 北勢会場 7月11日（月）必着

伊賀会場 8月1日（月）必着

尾鷲会場 8月22日（月）必着

問い合わせ先 三重県環境学習情報センター
〒512-1211

四日市市桜町 3684-11

Tel 059-329-2000

Fax 059-329-2909

E-mail info@eco-mie.com

HP <http://www.eco-mie.com/kouza/plt/index.html>

東日本大震災支援ボランティア

『みえ発! ボラパック』

第12～19 便募集

※詳細は HP 参照

問い合わせ先 みえ災害ボランティア支援センター

Tel 059-226-6916

HP <http://mvsc.jp/>

E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mail または Fax にて以下の要領でお送りください。

- (1) フォーマットに必要事項を入力の上、
毎月10日までにお願いします。
- (2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象: 三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくは TEL 059-354-7130（審査部）まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



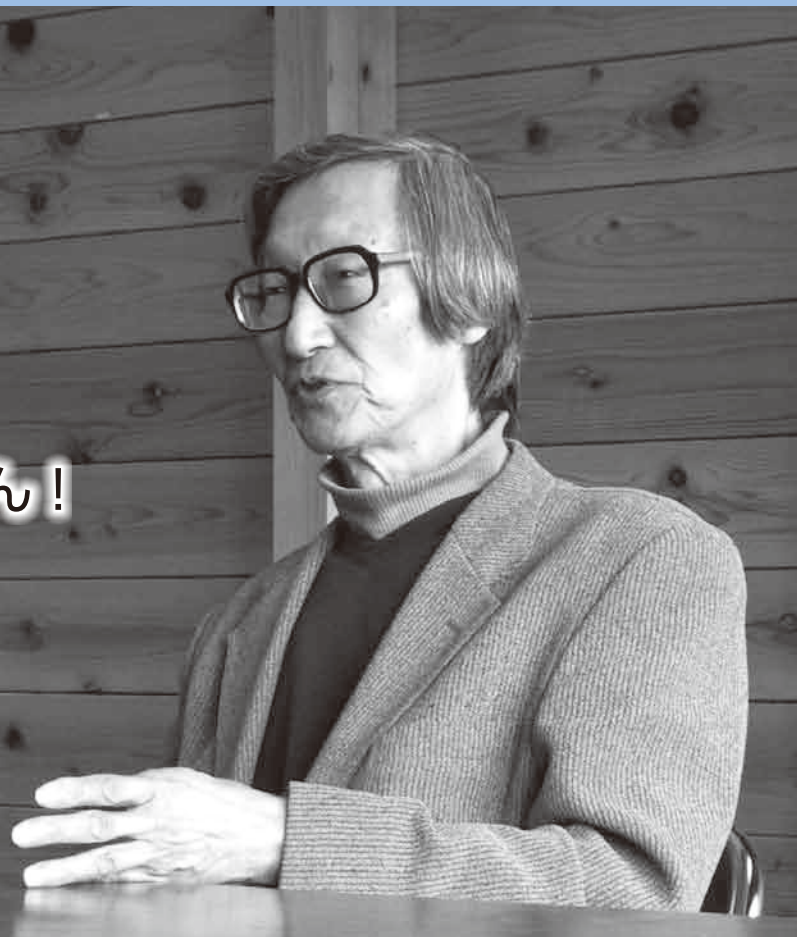
三重銀行

理念と歩みから学ぶ

NPO物語 Vol.27

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を紹介していきます。

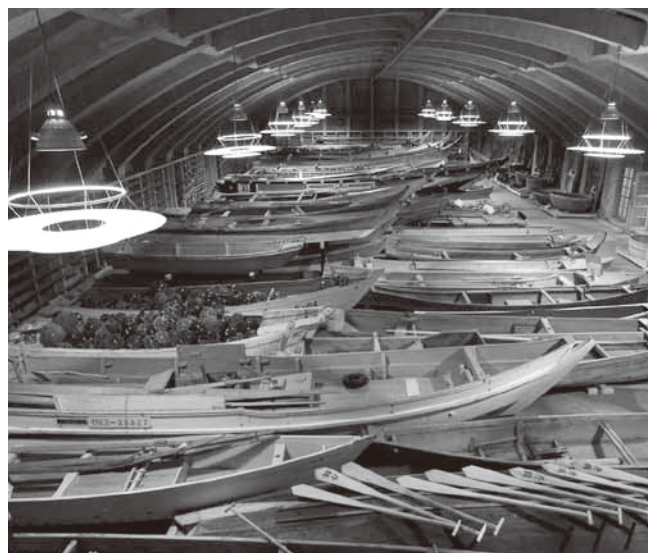
海をもう一度取り戻さないかん！

財団法人 東海水産科学協会 海の博物館
館長 石原 義剛

漁業のことを一般の人たちに知ってもらいたい 海の博物館（以下、「博物館」と略）の設立の経緯とミ ッションについてお聞かせください。

元々は漁業の財団法人で、三重県の水産の振興と漁村青年の教育を目的に活動を長年やってきたんですが、そういう仕事は基本的には国や県の仕事になっていったんです。そこで、財団として新たな仕事を模索せないかんということで、初代理事長*1が、漁村青年の教育を行いながら、一方では漁業のことを一般の人たちに知ってもらう活動をやろうということで、博物館づくりが始まりました。

博物館というのは基本的には、モノを集め、それを



収蔵庫

保存して展示をするというところに力点があるわけですが、それをもっと広げて、今の時代に活動していく博物館にしようと。当初は、失われゆく漁村資料に危機感を持ち、漁村資料を集めるということを一生涯やってきたんです。漁村の人たちからモノをもらうだけでしたので、漁村の人にもお返しができないかということで展開したわけです。

*1 初代理事長：石原館長の父、石原円吉翁

公害から海を守る

「SOS運動」というのは、何か危機感があってお始めになったのですか？

「SOS運動*2」は開館のときから始めました。これは一つには、初代理事長が水産資源保護ということにすごく力を入れてましてね。漁村というのは水産資源が無いと駄目だという考え方でやってたんです。その当時は海の汚染が広がっていた時代でした。それが資源に非常に悪い影響を与えるというので、その頃から環境を守らないかんと言いだしました。我々も正にそうだなと思ったわけです。

*2 SOS運動

SOS (Save Our Sea の略、救え！われらのいのちの海を)。海の博物館は情報誌「SOS」で海にかかわる情報を発信し続けています。海の環境はもとより、海の文化、魚介類の知識、漁業や船乗りのニュースなど、海の環境を守るための活動を長年、行っています。

未来の役に立つために

絶えず新しいことを模索されていると思いますが、
そこで大切にされていることは。

博物館というのは何のために資料を集めているのか
という未来の役に立つためにやってるわけなんです。
だから、将来の利益というか、大げさにいうと人類の
利益を図ろうということでモノを集めている訳です。一
方では現代に対してどういうふうにして役に立つかとい
うことをやらなきゃいけないわけです。なぜこんなもの
が捨てられていくのか、放棄されていくのか、その裏に
は必然性があるわけですから、そういうものをきちっ
と見て、それを一般の皆さんに伝えていくということは
博物館の大切な仕事です。



カツオの一本釣りを再現

海の森をつくるということ

地域への波及効果は？

ここ2、3年の一番大きなテーマは、海をもう
一度取り戻さないかん、再生させないかんとい
うことです。海をもう少し元気にさせないかんとい
うことで、海の中に森をつくらうということを一
生懸命やっているんです。そういうものが、地域の
皆さんに素直に受け止めて頂けるようになってきました。
それはウチだけの問題ではなくて、そういう社会になり
つつあるんだろうと思うんです。

今まではね、「森は海の恋人*3」という発想だったん
ですよ。すばらしい言葉なんですけれども、やはり漁師
の発想なんです。海から見た場合に森というのは大切
なんだという発想なんです。それを僕らはもっと広げて
「海の森をつくる*4」という考え方、それは陸の人間に
とっても非常にかげがえのない大切なものだというふう
にこれから広げていかないかんでしょう。意識が少しづ
つ出てきたように思います。この近辺では鳥羽市の学
校は全面的に参加するようになってきたし、伊勢湾の中
でも広がってきましたからね。

*3 森は海の恋人

宮城県気仙沼市唐桑でカキ養殖を行っている畠山重篤さんが提唱。川
が運ぶ豊富な養分が植物プランクトンを育てていることから、海に注ぎ
込む川の上流部に植林運動を始め、海と森がつながっていることをア
ピールした運動は全国に広がった。

*4 海の森をつくる:豊かな海を取り戻すために海の中に藻場を再生する。



韓国済州島の海女たちとの交流

海ときちんと向き合っていく

今後の課題と将来展望について教えてください。

それについては子どもらをドンドン海に出す、本物の
海へね。本物に触れさせて、そこに生き物もたくさんい
るという。その代わりひとつ間違えると海は怖いよとい
うこともちゃんと分らせる。それは絶対必要なことです。
この頃の若い人は皆バーチャルになってしまっただけ、体
験がないのに何でも情報はよく知っているという。日本
人がもう少しちゃんと海と向き合っていく付き合い方と
いうのを取り戻さなきゃいけない、それが最も肝要なこ
とです。

一方では、僕らは「海村*5」というものを、そこに寄
って立つ場として博物館をつくってますから、海を生活の
根拠にして皆が元気になっていくというのは大切ですけ
ども、ただ日本の社会というのは一方では東京や大阪
や工業地帯を中心としたスクラップ&ビルドの消費社会
をつくっているわけですよ。それと自然なる海ととも
に暮らす「海村社会」というのはどうも相反する感じが
するんです。だから、そこはまだ僕はよく分からないん
ですけども、これからは「地域社会をどういうふうにつ
くり上げていくか」というのが大きなテーマになるんだ
ろうと思うんです。

*5 海村：海辺の村。漁村。



子どもたちによるアマモ（海草）の苗づくり

【データ】

〒517-0025 三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68
TEL 0599-32-6006
FAX 0599-32-5581
ホームページ <http://www.umihaku.com>
代表者 館長 石原 義剛
団体設立年月日 1953年3月26日

とぴっくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時取り上げます。

ボランティア活動と若者

なぜ、地域のボランティア活動に参加する若者(10代～30代)が少ないのだろうか。その原因のひとつに、実際にボランティア活動に参加した経験がなく、ボランティア活動に魅力を感じていないという点があると考えられる。

ボランティア活動の魅力に、人と繋がり、人に感謝されることで、自分自身の生きがいを見つけるきっかけになるという点があるのではないだろうか。実際に、東日本大震災の被災地でボランティア活動を行った若者の中にも「被災地で、自分の行動がたくさんの方々に感謝される喜びを知り、これからもこういった活動を続けていきたい」とこたえる方がいた。

しかし、まだまだ若者のボランティア活動に対しての理解は乏しく、ボランティア活動をする若者の中には、まわりとの温度差を感じながら活動をしているケースも多い。

地域の若者が、ボランティア活動に参加することで、ボランティアの魅力を知り、今まで気付かなかった自分自身の存在価値をみつけることにまで繋がるケースも少なくないのではないだろうか。次世代の市民活動の担い手となる地域の若者が市民活動の第一歩として、まずはボランティア活動に参加しやすい場をつくることは非常に重要なことであると私たちは考える。

中間支援組織担当者ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りませんか?～

中間支援、NPO 支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。参加は無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

日時 7月21日(木) 13:30～16:00(予定)
テーマ 市民活動(支援)センターは何をしたらいい?

NPOのための無料よろず相談

これから活動を始めたい、団体の運営についての悩み、会計帳簿のつけ方は?職員を雇うときの手続きは?助成金をとりたいけれど…

先着順のため、相談日の1週間前までにお申し込みください。

対象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

日時 (1) 10:00～11:00 (2) 11:00～12:00
今後の予定

7月5日(火)、8月2日(火)、9月6日(火)

場所 みえ県民交流センター
アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

相談員 特定非営利活動法人 みえ NPO センター
代表理事、事務局長、事務局スタッフから相談に応じて

問い合わせ先 みえ市民活動ボランティアセンター
TEL 059-222-5995



コーナー

県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

《Monthly Selection》

◆『自治体の政策刷新効果と地域力』 ～検証ローカル・デモクラシー～

神奈川県/慶應義塾大学・編著

発行所:ぎょうせい 発行日:2011年3月30日

◆「子育て支援事業における行政との協働のあり方研究」

平成22年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書

発行所:財団法人こども未来財団

主任研究者:特定非営利活動法人びーのびーの 原 美紀
発行日:平成23年3月

認証した特定非営利活動法人

① 認証団体名 ② 法人事務所の所在地 ③ 活動分野 ④ 認証年月日 ⑤ 代表者

① White Blue
② 四日市市朝日町7番4号
③ まちづくり、環境、男女、子ども、経済活動、職業能力、その他
④ 2011年5月19日
⑤ 理事長 山口 高也

① みえ紀の国自然体験学校
② 尾鷲市大字南浦 3752 番地 39
③ 社会教育、まちづくり、文化、環境、子ども、経済活動
④ 2011年5月31日
⑤ 理事長 橋本 博

(2011年5月10日～2011年6月9日認証分)

「NPO から寄せられた募集とご案内コーナー」の原稿締切は前月10日です。
掲載希望の方は10日までに情報をデータでお送りください。(詳細5ページ)

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】津市/みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動センター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのびどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学 (松阪市)松阪市市民活動センター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター (名張市)名張市市民活動支援センター/エコリポート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活動支援センター/ウイリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/県下JA/バンク各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野]) /三重県米町庁舎(情報公開窓口) /三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場/各市町中央公民館など

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうきん

JAバンク
三重県下JA・JA三重信連

270

PRINTED WITH
SOY INK

古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。